

# 厚岸町海事記念館



## 通信

2010.3.  
No.14

### 子供たちが海事記念館に大集合！ かいじ探検隊を開催！！

去る2月20日(土)午後1時30分から海事記念館において冬の工作教室「かいじ探検隊!!」を開催しました。当日は、会場を4つに分け、「スタンドグラスをつくろう」、「ほしぞらさんば」、「9 uiz(クイズ)」、「絵はがきを探せ〜!」を実施しました。

「スタンドグラスをつくろう」では、台紙に取り付けた偏光板とセロハンテープを幾重にも貼ったプラスチック板を利用して、スタンドグラスを作りました。光の屈折から七色に変化する光の不思議を体験！会場からは驚きの声があがっていました。展示室を探検しながら答える「9 uiz(クイズ)」では、回答用紙を片手に館内を元気よく所狭しと駆け回り、一生懸命問題を解いていました。絵はがき合わせ「絵はがきを探せ〜!」では、大人でも見つけるのがやっと。虫眼鏡で絵はがきを見ないとわからないような難問も。会場からは「この問題、誰が作ったの?」という声もちらほら...。ところがどっこい、最後には参加者のほとんどが全問正解でした。

参加した子供たち全員が、すべてのコーナーを制覇し、「全問正解賞」をもらって帰りました。また海事記念館に遊びに来てね〜。



スタンドグラスをつくろう



ほしぞらさんば



絵はがきを探せ〜!

9 uiz(クイズ)



## 特別展「絵はがき再発見」開催中～～～!!

ただいま海事記念館では平成21年度特別展「絵はがき再発見～絵はがきから歴史が見えてくる～」を開催中です。会場では、当館所蔵の絵はがき資料をはじめ、町民の方がお持ちの絵はがきや本の森厚岸情報館、近隣5市町（釧路市、標茶町、中標津町、別海町、根室市）の博物館などで所蔵している絵はがき、約170点を展示しています。そこで、この場を借りて海事記念館が所蔵している絵はがきについてお話ししたいと思います。

現在（平成22年1月末）、当館所蔵の絵はがき資料は212点あります。私が、当館において初めて接した絵はがき資料は、釧路市在住の佐久間令次氏寄贈のもの、24点でした。これは、全て未使用で、消印などもないことから使用年代などはわかりませんが、写っている建物などから大正時代の写真を用いた絵はがきだと考えられます。発行元としては、そのほとんどが厚岸三成堂書店です。写真の部分には、題名がそれぞれ記されており、中には括弧書きで「（厚岸名所）」と書かれたものもあります。



（行發堂三成厚岸） 景全町岸厚 （所名岸厚）  
「（厚岸名所） 厚岸町全景 （厚岸三成堂発行）」  
厚岸町海事記念館所蔵

この絵はがき資料の中で特に目を引くのは、「厚岸港全景」と題した5枚（其一～其五）連続の絵はがきです。ただし、残念ながら佐久間氏寄贈のものの中には、5枚中1枚（其一）が含まれていませんでした。しかし、後述する阿部庄太郎氏関係の絵はがき資料群にその1枚（「厚岸港全景」其一）が含まれており、これで、5枚すべてが当館に揃ったこととなります。近隣の博物館などでも絵はがきが所蔵されていますが、私見の範囲では、これまで5枚つなぎの絵はがきを見たことがありません。今回特別展では、実物とパネルで紹介していますので、この機会にご覧下さい。

さて、この連続写真は、現在の湖南地区（本町側）を一望できるという仕掛けになっています。大正期の前半に撮影されたものだと思われる、撮影場所は正行寺裏手の山（湯殿山）の中腹。季節は秋から初冬にかけてでしょうか。木々の葉はすっかり落ち、街を行く人も角巻のようなものを身にまとい、子どもたちは綿入れを着ているようです。また、水汲みの桶を両手に持ちながら何やら子供たちに話しかけている風の男性も写っています。その後方には屋根のついた井戸も写っています。おそらくここから水を汲んできたのでしょう。このように絵はがきは当時の生活を知ることのできる貴重な資料とも言えます。

今回の特別展開催に当たっては阿部庄太郎氏関係の絵はがき資料に負うところが大きいです。阿部庄太郎氏は、万延元年（1860）2月12日に岩手県紫波郡水分村（現、岩手県紫波町）で生まれ、明治19年（1886）に渡道。その後、厚岸へ移住した人物です。この阿部氏関係の絵はがき資料188点が海事記念館に所蔵されています。厚岸町の風景をはじめ、根室や札幌、小樽、函館といった北海道内の絵はがきも含まれていますが、故郷の岩手県をはじめとした東北地方のものも多く含まれています。その中の「県社志和稻荷神社拝殿落成記念」の絵はがき（13枚組）について述べると、この神社は現在の紫波町にあり、大正6年（191

7) に同神社の拝殿<sup>はいでん た</sup>が建てられ、その落成記念として発行されたのがこの絵はがきです。この拝殿建築<sup>けんちく</sup>の際に、当時すでに厚岸に移り住んでいた阿部氏がお金を寄附<sup>きふ</sup>しています。おそらく、その関係でこの絵はがきが厚岸に残っているんだと考えられます。故郷から遠く離れた場所に移住しても、なお故郷への強い想いが感じられる絵はがきと言えるでしょう。



「岩手県社志和稲荷神社拝殿」

厚岸町海事記念館所蔵

今回お話しした内容<sup>ないよう</sup>は、海事記念館所蔵の絵はがき資料の一部に過ぎません。まだまだ、興味<sup>きょうみぶか</sup>深い絵はがきがたくさんあります。ぜひ、特別展をご覧ください<sup>さいわ</sup>ただければ幸いです。

## 平成21年度海事記念館特別展「絵はがき再発見 ～絵はがきから歴史が見えてくる～」のご案内

期 間 : 平成22年2月6日(土)～3月22日(月・祝日)  
休館日: 月曜日、祝祭日の翌日  
(期間中の休館日...2月8日・12日・15日・22日、  
3月1日・8日・15日)

開館時間 : 午前9時から午後5時まで  
会 場 : 厚岸町海事記念館1階ホール  
入 館 料 : 海事記念館入館料のみ  
(大人210円、高校生以下無料)

なお、予告なく展示資料を変更する場合があります。



### お知らせ

特別展「絵はがき再発見」のPRで、車塚学芸員がラジオに生電話出演します！

**番組名** ラジオ第一放送「おはようもぎたてラジオ便」(NHK札幌放送局)

**放送日時** 3月6日(土)午前7時50分頃(約5分間の出演です)

「慣れないながらも、精一杯、PRします。」(車塚学芸員談)

## 【お知らせ】4月16日から郷土館・太田屯田開拓記念館が開館します!!

冬期間(11月16日から4月15日まで)休館となっていた郷土館・太田屯田開拓記念館が、**4月16日**より開館します。皆さまのおこしをお待ちしています。

開館時間 午前9時00分～午後4時00分  
休 館 日 毎週月曜日、祝祭日の翌日、  
11月16日～4月15日  
入 館 料 100円(高校生以下無料)  
(なお、団体25名以上は1名60円)

## 厚岸かぐら同好会が表彰されました

この度、長年にわたり厚岸町の無形文化財「厚岸かぐら」の保存・伝承に取り組んできた厚岸かぐら同好会が平成21年度釧路管内教育実践表彰を受けました。これは厚岸かぐら少年団や伝承校である厚岸町立真龍小学校への厚岸かぐら指導といった後継者育成活動と地域伝統文化の振興といった功績が認められたものです。2月19日(金)には北海道立釧路芸術館において表彰式が開かれ、当日は厚岸かぐら同好会を代表して畠山竹士会長が出席し、北海道教育庁釧路教育局大山節夫局長より表彰状と楯が授与されました。これからも、厚岸かぐらの保存・伝承、後継者育成のため、頑張っていたきたいと思います。

また、現在、厚岸かぐら同好会では、真龍小学校3年生の総合的な学習の時間で厚岸かぐらを練習しています(この通信14号がみなさんのお手元に届く頃には、授業参観でその成果を披露していることと思います)。児童の中から一人でも多く、厚岸かぐらを好きになってくれるとうれしいです。



大山節夫釧路教育局長から賞状を授与される畠山竹士厚岸かぐら同好会会長

### 〈お知らせ〉文化財歴史教室を開催します!!

今年も昨年に引き続き、文化財歴史教室を下記の日程で開催します。町内の文化財や郷土の歴史に触れてみませんか。みなさんのご参加をお待ちしています。

**日時** 平成22年3月13日(土)  
午前10時00分から午後12時00分まで

**場所** 海事記念館2階プラネタリウム室

**内容** 「『日鑑記』に見る地震・津波」熊崎農夫博文化財係長  
「厚岸町海事記念館所蔵の絵はがき資料について」車塚洋学芸員  
「第二次幕府直轄期の厚岸」菅原卓己学芸員

なお、当教室終了後、希望者を対象に、車塚学芸員による現在開催中の特別展「絵はがき再発見」の展示解説を実施する予定です。

### 編集後記

「厚岸町海事記念館通信」第14号 2010.3.発行  
【編集・発行】

厚岸町海事記念館

〒088-1151 北海道厚岸郡厚岸町真栄3丁目4番地

Tel/Fax (0153)52-4040

ホームページ <http://www.town.akkeshi.hokkaido.jp/kaiji>

2月に開催した「かいじ探険隊」。子供たちの集中力にはビックリ!!

難問揃いの絵はがき合わせでも全問正解者続出。今度はもっと難しい問題を作っちゃおうと意地悪心が湧いてしまいました(笑)  
(車塚)